

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	入居者が重度化しひとつのケアに時間を要するようになった。 そのケアをしている最中に転倒のリスクのある方が立ち上がろうとされたり、動かれる方に、リスク回避を優先するがあまり、つい「ちょっと待って」と言ってしまう言葉による制限を掛けてしまうことがある。	「ちょっと待って」と言わないケアを実践する。	各ユニットで入居者一人一人のADLなど現状の再確認を行い、どのような場面でそのような発言が見受けられるのかスタッフ間で意見交換、周知する。 そして、リスクが発生しなくて済むよう先回りのケアの検討や、「ちょっと待って」に代わる別の表現方法を検討し実践する。	3ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。

注3) この目標達成計画は、外部評価結果が確定した後作成し、評価機関へ送付してください。また、評価結果と一緒に市町村に提出してください。